



2023 年度夏季手当に関する申し入れ

6月8日 労使で以下の3点を確認!

1

現場の皆さんには、コロナ禍でありながら感染対策に取り組み、安全・安定輸送や更なるサービス向上にご尽力いただきました。その結果3期ぶりに黒字になることができたこと、改めて感謝申し上げます。

2

組合員ならびに社員の声をしっかりと受け止めていきます。

3

「変革 2027」にあるように、会社の持続的成長をつなげていくためには、社員の働きがい・労働条件向上・健康増進が不可欠であり、それらを取り組むことで社員・家族の幸福の実現を図っていきます。

しかしながら、**3.2ヶ月+10万円**を求めた要求水準には遠く及ばない!
不足分**(0.7ヶ月+5万)**の支給を求めて、
別途申し入れることを通告し、**妥結**の判断を行う!

さらに **すべての仲間・家族から寄せられた17ページにわたる生の声を会社に届ける!**



設備投資にばかり利益が投じられ、
私たち組合員・社員への還元は微々たるものだ!

黒字決算なのに「有利子負債の増加」というのは理由にならない!

「現場の努力への適正な評価」と「生活の豊かさを実現する社員への還元、で
「真の実績と活気あふれる職場をつくり出す。すべての仲間と家族からの意見

- ・ペラも出さない、ボーナスも出さない、ジョブローテーションで本人希望を無視した強制転勤はやる。こんな会社で働いて幸福なんて全く感じない。
- ・会社が社員に対する扱いはどういふ数字なのかと怒った。黒字化に向け頑張ってきたこと、苦しみしてきたことに対して、還元していない。
- ・社員に対する研修や委員会活動への評価、柔軟な働き方などの環境を整備することが「ヒトへの投資」と会社は認識している。本当の「人への投資」とは、黒字で確保した利益を賃金や夏季手当で支払うことだ。言葉を上手に使って社員を騙さないでほしい。
- ・頑張っても報謝がない。
- ・若ければ転職したい。
- ・我々現場は相当苦勞して黒字化に向けて顧客獲得や、合理化に協力し身を削って金を食いつけて頑張っている。
- ・少ない。物価上昇は止まらないし、仕事量は増えるし全く見合っていない。
- ・お客さんラダラダ、赤字決算で2.3ヶ月、お客さんパンパン、黒字決算で2.5ヶ月プラスの方針、これしか増えないなんて残念だ。
- ・ペラ、夏季手当で基本給の倍は増えたいものの、夏季手当や年末手当を抑えられては、頑張りが報われたという実感は正直感じません。
- ・経団連に在籍して、むしろ世間相場を形成・牽引する側が、東証プライムの平均しか増えない、でも株主還元はしっかり配当する、ストックホルムモデルの位置付けはしっかりしているとは、労働者は最下層ということだ。
- ・今回の夏季手当額によりそう若手、ポテンシャル含め職階が加算する事が予想できます。中小企業じゃないんだから平均を最低上げないで騙りませんか?というのが率直な感想です。どこをいつまでも良い人材の溜り場か職階が低レベルでは、この先自分の時間を無駄にする事は上がりません。
- ・黒字化は現場社員(組合員)が成し遂げたもの、物価上昇の続く中で、この程度でよしと会社でいいか?社員の生活も見てほしい。7月期は議論を要していない。
- ・黒字化達成まで、現場の社員は身も心も削って耐え忍んできた。聞く所に聞かず、役員報酬は早々に元に戻したのだから?それで、下っ端の社員にははたけ出せば良いという姿勢が見える。変革、変革言う前に、コロナ前から経営陣は利益を奪われないですな。
- ・労働者は施設に振り回されて疲弊している。黒字で言っていたのに話が違ふ。眞理を現場の努力に応えるべきだ。



通知書は
こちらから

あわせて、第3回団体交渉にて、この間の労使議論を
覆す事実と異なる回答を繰り返したことに對して、
誠実交渉義務を果たすことを求め、通知書を提出!